

論点に対する回答（追加分）

| | |
|--|---|
| 分野 | 行政手続における書面主義の見直し及びオンライン利用率を大胆に引き上げる取組（旅券発給申請手続） |
| 省庁名 | 外務省 |
| <p>【追加論点－①】</p> <p>既に申請・交付時ともに出頭せずに手続が完了する国が存在するのであれば、その手法等について調査・研究を行った上で、わが国も申請者本人の住所地への配送による交付を積極的に検討し、デジタル完結を目指した取組みを行うべきと考えるが、貴省の見解如何。</p> <p>なお、本制度は法定受託事務であるところ、配送による交付が可能となるような事務形態を外務省が積極的に検討すべきであって、現状の事務形態を前提とした都道府県からの意見を検討しない事由としてはならないと考える。</p> | |
| <p>【追加回答－①】</p> <p>現時点で配送の導入は想定していないが、2024 年度に導入予定の次世代旅券・集中作成の導入にあたり、配送を含む制度全般のあり方について、来年の通常国会における旅券法改正に関する議論も踏まえ改めて検討していく所存である。</p> | |
| <p>【追加論点－②】</p> <p>少なくとも戸籍謄抄本の添付が不要な更新者については、令和 4 年度のオンライン申請開始時点で、申請・交付時ともに出頭せずオンライン完結が実現されるべきと考えるが、貴省の見解如何。</p> | |
| <p>【追加回答－②】</p> <p>現時点で配送の導入は想定していないが、2024 年度に導入予定の次世代旅券・集中作成の導入にあたり、配送を含む制度全般のあり方について、来年の通常国会における旅券法改正に関する議論も踏まえ改めて検討していく所存である。</p> | |